



午前10時からイベントが始まり、会場内では多くの買い物客等で賑わいを見せた。志波富有柿を販売した会場内の休憩処「お狩場」では、軽トラックの荷台を活用した販売スペースに採りたての地元野菜とともに柿は並べられ、近くではイノシシのバーベキューも振舞われ、終日黒山の人だかりで大盛況となった。

## 朝倉志波柿農家支援プロジェクト

富有柿が並べられた棚には九州北部豪雨災害復興支援の看板が掲げられ、また、柿農家ファミリーの写真もあり、顔の見える形での復興へ多くの方に協力いただいた。試食の柿はあっという間になくなり、「甘い、安い、おいしい」と大変喜ばれた。

被災から2年が過ぎ、課題は多いが着実に復興へと進んでいる。柿も災害に負けないと毎年実を結んでおり、今月が最盛期を迎える。当センターでは柿収穫ボランティアを月末と来月に予定している。



九州北部豪雨で亡くなられた方へ謹んでご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに早期の復旧・復興を祈念します。

## 復興支援 志波富有柿を販売

那珂川市南畑地区で毎年開催されているイベント「なかがわ中山間ふる里まつり」と同時開催の「南畑美術散歩」が11月17日(日)開催された。



当センターが復興支援として販売を行った朝倉杷木志波の富有柿は九州北部豪雨被災から始めて今年で3年目を迎え、前年を上回る310個が大好評につき完売となった。

## 九州北部豪雨被災地支援へ完売

この日は前日に用意した1袋3個入り60袋と予約販売分130個がイベント会場内2ヶ所で販売された。毎年楽しみにされている方も多く、「朝倉災害支援に」と気持ちよくご購入いただいて、予約販売分が年々増えている。

